

教科	公民	科目	現代社会	単位数	小学科・学年	教科書
				2単位	全科・3年	最新現代社会 新訂版(実教出版)
副教材	なし					
学習目標	現代社会の諸課題について、政治・経済、社会・文化・倫理などさまざまな観点から探求し、時事的な問題を切り口に、現代社会に対する興味・関心を高める。また、自己との関わりに注目させ、いかに生きるかを主体的に考えさせる。					

評価の規準・観点			
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
現代社会の基本的な問題に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的な問題に関わる課題を見だし、社会的事象の本質や人間としてのあり方生き方について広い角度から考察するとともに、社会の変化やさまざまな立場、考え方を踏まえて公正に判断する。	現代社会の基本的な問題に関わる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアを通して収集し、役立つ情報を主体的に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果をさまざまな方法で適切に表現する。	現代社会の基本的な問題と人間としてのあり方生き方に関わる事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。
<ul style="list-style-type: none"> ノート、課題等の提出状況 授業における態度、意欲 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の取り組み状況 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、課題の提出、定期試験等を上記の4観点に基づいて総合的に評価する。		

学習の内容 (特色を含む)			
月		月	
4	1 私たちの生きる社会 (1) 地球環境問題 (2) 資源・エネルギー問題 (3) 生命科学と情報技術の課題	10	(2) 日本国憲法の基本的性格 ① 日本国憲法の成立 ② 日本国憲法の基本的性格
5	中間試験	11	4 現代の経済社会と国民生活 (1) 現代の経済社会 ① 経済主体と経済活動の意義 ② 経済社会の変容 ③ 市場のしくみ
6	2 青年期と自己の形成 (1) 自分らしく生きる ① 青年期とは ② 自己形成の課題(1)(2) ③ 職業生活と社会参加	12	(2) 日本経済の特質と国民生活 ① 労働問題と労働者の権利 ② こんにちの労働問題
7	(2) 人間としてよく生きる 期末試験	1	5 国際社会と人類の課題 (1) 国際政治の動向 ① 国際社会と国際法 ② 人種・民族問題
9	3 現代の民主政治と日本国憲法 (1) 現代国家と民主政治 ① 民主政治の成立 ② 民主政治の基本原理 ③ 民主政治のしくみと課題 ④ 世界の主な政治制度	2	③ 軍拡競争から軍縮へ ④ 国際平和と日本の役割

担当者からのメッセージ及び特色	
1 授業	現代社会の学習を通して、民主的な社会への確立の歩みとそのしくみ・制度を理解する。
2 家庭では	現代社会におけるさまざまな課題について理解を深めるため、世界の様々な地域の生活や文化を紹介した本を読んだり、テレビ番組をみる。また、新聞やニュースを通して、現代社会の諸問題に関心がもてるようにしたい。
3 特色	進路を控えた3年生での実施となるので、時事問題などの進路対策も積極的に行う。